

墜落制止後のサスペンショントラウマ対策に



エマージェンシーストラップ

EGCS型

ストラップ: ナイロン 幅25mm
二個一組 重量: 約170g

2020年3月出荷分より仕様が変わります。

従来品

変更点

- ・ケースの形状
- ・ストラップのカラー
- ・縫製部のパターン



製品の使用方法や、構造自体に変更はございません。
従来品であっても変わらずご使用頂けます。



緊急時であっても視覚的にわかりやすいカラーリング



フック



ループ

約20cmの間隔で7カ所に設けられています。

面ファスナー

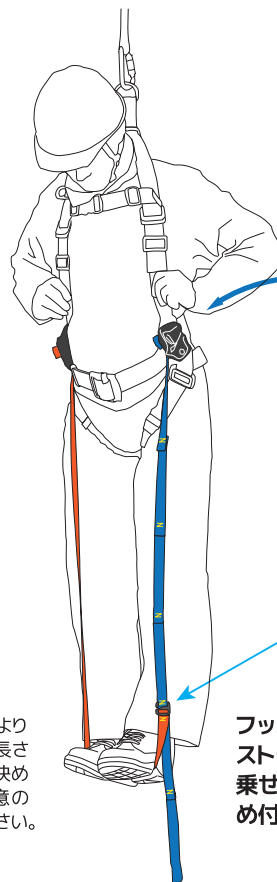
<裏側>



取付ストラップ



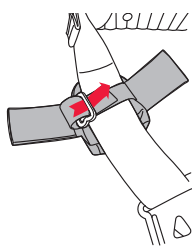
個人の体格差やハーネスの種類により適切な長さが異なりますので予め長さをご確認ください。その際には位置決め用の帯(面ファスナー付き)を、任意のループに取り付けて目印にしてください。



平時はストラップを巻いてコンパクトに収納。



フックをループにかけて2本のストラップを繋ぎ、これに両足を乗せて踏ん張ると、腿ベルトの締め付けが緩和される仕組みです。

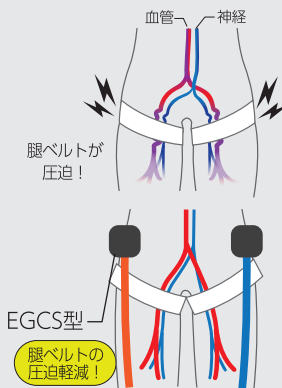


フルハーネスの腰のクロス部分のベルトに取付ストラップで装着後面ファスナー付きのベルトで覆います。



江戸鳶、PANGAEA-HORIZONにはクロス部分がありませんので腿ベルトに装着してください。ストラップの出口を身体の前方向、本体は横向きに取り付けます。

墜落制止後の宙吊り状態



EGCS型
腿ベルトの圧迫軽減!

サスペンショントラウマとは?

フルハーネス型の装着者が、墜落制止後の宙吊り状態になった際に、腿ベルトの食い込みが下肢の血管や神経を圧迫することで発生します。正常な血液の循環が行われず、身体に酸素が行き渡らなくなり、様々な症状を引き起こします。

エマージェンシーストラップ(EGCS型)に体重を預ける事で、腿ベルトの食い込みが緩和され、血管や神経の圧迫を軽減し、サスペンショントラウマの発生や進行を遅らせます。

サンコー株式会社

<http://www.sanko-titan.co.jp/>

本社・本社工場 〒532-0033 大阪府大阪市淀川区新高1丁目14番7号 TEL.06-6394-3541(代) FAX.06-6395-0041
 東京支店 〒160-0004 東京都新宿区四谷4丁目2番5号 TEL.03-3352-5404 FAX.03-3350-5320
 北海道営業所 〒003-0813 北海道札幌市白石区菊水1丁目3番18-2 TEL.011-832-0145 FAX.011-832-7895
 東北営業所 〒980-0012 宮城県仙台市青葉区錦町1丁目1番8号 TEL.022-797-9860 FAX.022-797-9851
 名古屋営業所 〒456-0056 愛知県名古屋市熱田区三番町2番15号 TEL.052-653-5770 FAX.052-653-5810
 九州営業所 〒814-0164 福岡県福岡市早良区賀茂4丁目6番28号 TEL.092-873-0392 FAX.092-873-0948
 淀川商品センター/岡山工場

記載の製品以外の写真はイメージであり、実際とは異なります。印刷のため、実際の色と異なって見える場合があります。製品の仕様は、改良の為、予告無く変更される場合があります。